



キミの“？”が科学になる日

つくば SCIENCE DAY

つくば SCIENCE DAY は、
身近な「なんで？」や「やってみたい!!」から始まる、
“自分だけの探究”を応援する1日。

研究の最前線で活躍するつくば市の研究者たちが
ナビゲーターとなり、子どもたちの問いに寄り添い、
一緒に考え、実験し、未来の可能性を広げます

8.17 日

会場

つくば市内教育施設（詳細は申込者に通知）

午前の部
小4～6年

09:30 ▶ 12:30

対象

つくば市内の小学4年生～高校2年生
※小学生、中学生、高校生向け各プログラム開催

午後の部
中1～高2年

13:30 ▶ 16:30

定員

午前 最大 80 名程度 午後 最大 80 名程度
午前・午後のプログラムは選択制

時間

小4年から6年

中1年から高2年

09:00 ● 受付開始 ▶ 開場（参加者ごとに会場移動）
09:30 ● 研究者ワークショップ
12:00 ● 振り返り / アンケートタイム
（自身の感想や気づきを確認）
12:30 ● 昼食休憩
13:00 ● 受付開始 ▶ 開場（参加者ごとに会場移動）
※午後から参加の生徒対象
13:30 ● 研究者ワークショップ
16:30 ● 振り返り / アンケートタイム
（自身の感想や気づきを確認）

お申し込みはこちら▼

参加費
無料



※参加には事前申込が必要です。

午前の部 小4 - 6年生

定員：各 20 名程度

1コマ（約 2.5 時間）で「研究者のように探究する」体験ができる特別ワークショップ！

光の不思議を体験しよう！



坂元 眞一氏
サイエンス・メディア・ラボ

東京大学大学院修了理学博士。専門は高エネルギー物理学（素粒子実験）。英国ラザフォード・アップルトン研究所、米国ラトガース大学、東京大学理学部、高エネルギー加速器研究機構に在籍、主に反陽子やミュオンについて研究。2002 年日本原子力研究所（現日本原子力研究開発機構）に移り、大強度陽子加速器施設 J-PARC の建設を推進。施設完成後は科学の啓発活動に専念。退職後、つくばエキスポセンターのボランティア・インストラクターを務めるとともに、フリーの科学コミュニケーターとして活躍中

昆虫で探究してみよう！



砂村 栄力氏
国立研究開発法人 森林研究・整備機構
森林総合研究所 主任研究員
東京大学 非常勤講師

子どもの頃から生き物に興味があり、大学ではアルゼンチンアリという外来種について研究。卒業後、メーカーでの殺虫剤の研究開発を経て、2019 年からつくばの森林総合研究所で森林や樹木の害虫に関連する研究を行う。仕事では害虫を駆除しているが、害虫に対して敬意や愛着も感じており、それをアートとして表現する試みも行っている。

送粉昆虫ってどんな虫？ ～マルハナバチの巣と働きバチを観察しよう～



中村 祥子氏
国立研究開発法人 森林研究・整備機構
森林総合研究所 多摩森林科学園

埼玉県出身。2007 年帯広畜産大学畜産学部卒業。同年理工系図書出版社へ入社、08 年退社。帯広畜産大学研究員を経て 10 年北海道大学大学院環境科学院修士課程入学、12 年修了、同年博士課程入学。13 年に休学し学術雑誌の編集職を経て、17 年北海道大学大学院環境科学院にて博士（環境科学）の学位取得。同年、森林総合研究所の森林昆虫研究領域（つくば）でポストク雇用の後、21 年 10 月、同研究所の支所である多摩森林科学園にて主任研究員として着任。都市近郊林における花粉媒介サービスに関する研究を行っている。

嗅げば嗅ぐほど面白い香りの秘密



森 綾香氏
株式会社バスクリン製品開発部
素材開発グループ所属 調香師

高校の化学の授業がきっかけで香料化合物に興味を持ち、香りの世界に足を踏み入れる。香りは生活のいたるところに存在し、香りがあることで「おいしい」や「危険」を察知することもできる切っても切り離せないもの。また香りの効果は多岐にわたり、リラックス効果、集中力の向上など様々な効果がある。さらに記憶や感情と深く結びついているため、同じ香りでも人によって感じるものは様々。身近な存在であるからこそ、日用品を通して少しでも人々の生活が豊かになるよう、日々香りを調査している。

午後の部 中1 - 高2年生

定員：各 20 名程度

新素材を通じて世界を救う！



桂原 充宏氏
国立研究開発法人 物質・材料研究機構（NIMS）
高分子・バイオ材料研究センター 副センター長
つくば科学教育マイスター

スマートポリマーと呼ばれる特殊な素材を用いて、途上国や被災地でも利用できる医療デバイスの開発を行っている。子どもたちへ科学のすごさ・面白さを伝えるため、ナノ戦隊スマボレンジャーの活動も行う。

宇宙線を数えてみよう！



高橋 将太氏
名古屋大学 素粒子宇宙起源研究所
広報室 特任助教
つくば科学教育マイスター

高エネルギー加速器研究機構（KEK）で活躍中の科学コミュニケーター。素粒子、原子核、宇宙、加速器をキーワードに、つくばのみんなを基礎科学の虜にし、世界平和を目論む科学コミュニケーター。トレードマークは笑顔！



三原 智氏
高エネルギー加速器研究機構 教授

1997 年 京都大学理学研究科博士課程単位取得退学
1997 年 東京大学素粒子物理国際研究センター 助手 / のち助教
1998 年 東京大学理学博士
2008 年 高エネルギー加速器研究機構准教授
2014 年 高エネルギー加速器研究機構教授
2015-2021 年 文部科学省科学官（兼業）

e スポーツで 仲間と、世界と、科学とつながろう！



松井 崇氏
筑波大学 体育系・准教授

2007 年、筑波大学体育専門学群卒業。2012 年、筑波大学大学院人間総合科学研究科修了。博士（体育科学）。柔道五段。2012 年より、学振特別研究員 SPD、スペイン・カハール研究所・客員助教を経て「スポーツ神経生物学」を推進。2015 年、筑波大学体育系運動生化学領域に着任。2017 年より、全日本柔道連盟科学研究部・基礎研究部門で「柔道生理学」を展開。2020 年より、筑波大学スポーツイノベーション開発研究センター・スポーツ IT 分野にて「e スポーツ科学」を先導。2022 年より、筑波大学健康ライフスタイル開発研究センター・副センター長として「老若男女の健康スポーツライフの創成」に取り組む。

3D プリンターを通じて、 生物を創造しよう！！



森 健人氏
路上博物館 館長
博士（理学）

コスプレの衣装づくりのための資料集めが高じて解剖学、博物学の道に進む。博物館標本がもっと創作のための資料として活用される世界を目指す。博物館標本の楽しさを知ってもらうべく、標本の 3D データ作成、そして、作ったデータから 3D プリントレプリカを作成し、路上で展示を行う「路上博物館」の活動を行っている。